

■成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	シティプロモーション専用ページのページビュー数	件	99,895	R2	134,025	229,135		125,000
2	支援を受けて住宅を取得した子育て世帯数(累計)	世帯	—	—	10	23		40
3	移住相談等を通じた移住件数(累計)	件	41	R2	89	116		190
4								
5								
6								
7								
8								

■市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 移住・定住の促進に関する取組が充実している	重要度 満足度	1.00 ▲0.56		移住・定住に対する取組に対する市民の重要度は高いが、満足度が低い状況にある。一層の関連する取組の推進が求められるが、移住の状況、人口の社会増など、具体的な成果や背景が見えにくい側面も考えられるため、効果的な情報発信も必要である。
2	重要度 満足度			
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 戦略的なシティプロモーションの推進	専用ホームページでの情報発信をはじめ、県東京事務所でのPR活動や職員研修を行った。今後も情報発信を継続するほか、庁内連携を強化しつつ情報発信内容等の充実を図っていく必要がある。
② 若者・子育て世帯の定住促進	みえ出逢いサポートセンターと連携した婚活支援や若年層の活動支援、子育て世帯の住宅取得支援を実施することで、若者・子育て世代の定住促進に努めることができた。
③ 移住交流の促進	DOMAプロジェクトの実施や移住フェアへの積極的な参加等により、本市を知ることができる機会や関係人口の創出に資する取組を進められたため、中長期的な視点での移住促進が期待できる。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

戦略的なシティプロモーションの推進では、第2期亀山市シティプロモーション戦略に基づき、専用ホームページにより市の魅力を積極的に情報発信するとともに、三重県東京事務所のショーウィンドウを活用したPR活動を積極的に行った。また、若者・子育て世帯の定住促進においては、市独自の住宅取得支援制度を活用し、子育て世帯・13世帯に住宅取得支援を行ったほか、「みえ出逢いサポートセンター」のみえ結婚支援プロジェクトチーム(北勢地域)に参画し、出逢いや結婚を希望する方に対し情報提供を図った。さらに、移住交流の促進については、定住支援員を配置した移住相談窓口を通じて、移住希望者に対するきめ細かな相談対応を図ったほか、都市部での移住フェアや三重県主催の移住相談会等へ積極的に参加するとともに、「移住・交流促進アドバイザー」による都市圏での本市のPRや移住相談の実施や、東京圏からの複数世帯に対する移住支援金の交付(1件)、インスタグラムを活用した情報発信を実施した。また、令和5年度から関宿の旧荘司家を拠点に関係人口の創出を目指し、「DOMAプロジェクト」をスタートさせるとともに、移住希望者に市内を案内する「かめやま暮らしめぐり」を5回実施したことで、先輩移住者や様々な世代の方との交流の場づくりにつなげた。こうした取組を通じた令和5年度の本市への移住人口は、潜在的なものまでは把握できないものの、三重県への報告値として77名・27世帯であり、数年連続で一定数を確保している状況である。今後も、様々な機会やSNSを活用した本市の魅力発信、DOMAプロジェクト等を活用した関係人口の創出に向け、着実に取組を進めていく必要がある。

B

まずまず進んだ

今後の展開方針

戦略的なシティプロモーションの推進については、本市を移住・定住先に選んでもらえるよう、専用HPやSNSなど様々な媒体や関係人口を介し、本市の多彩な魅力や良質な都市イメージの情報発信の強化を図っていく。また、若者・子育て世帯の定住促進については、住宅関係部署との連携を強化し、住宅取得支援制度の更なるPRと空き家バンク制度の登録物件の充実にも努め、定住促進につなげていく。さらに、移住交流の促進については、首都圏や関西圏での移住促進の取組を一層推進するため、移住・交流促進アドバイザー登録者数の増員を図り、定住支援員等と連携した取組を強化していく。また、DOMAプロジェクトの展開によるワークショップの開催や地域イベントへの参画など、交流の場の拡充を図っていくとともに、関係人口を構築する新たな手法について検討を行っていく。